

公益財団法人JKAの競輪による補助事業(自転車等機械工業振興補助事業)で導入した機器を紹介します。

平成26年度導入機器 振動試験機



振動試験機 概要

- ・最大加振力:サイン/16kN、ランダム/12.8kNrms ショック/40.0kN_{0-P}
- ・振動数範囲:(DC)~3000Hz(垂直補助テーブルを用いた場合300Hzまで、水平方向は2000Hzまで)
- ・最大加速度:サイン/1067m/s²、ショック/1471 m/s²_{0-P}
- ・最大速度:2.3m/s
- ・最大搭載重量:200kg(試験品、可動部、治具、ボルト等を含む重量)
- ・最大振幅:56mm p-p
- ・加振方向:上下および水平方向
- ・実施可能試験:サイン波試験、ランダム波試験、ショック波試験、任意波形試験

応用例

- ・車載用製品、電気・電子機器、情報通信機器、精密機器、輸送用機器におけるJIS等の規格に対応した各種振動試験(サイン、ランダム、ショック)
- ・機械・電子・電子製品の振動による故障原因の検証
- ・物流中における段ボール等梱包物内の製品の破壊・破損の検証

※上記性能は無負荷時における性能です。試験する試料の重量、大きさ、加振条件により、最大能力は異なります。

疲労試験機



疲労試験機 概要

- ・最大ストローク:±25mm
- ・ロードセル:100 kN, 2 kN
- ・測定治具:手動式平板つかみ具±100 kN, ピン式平板つかみ具5 kN等

応用例

- ・プラスチック材料の疲労試験
- ・金属材料の疲労試験